

## 編集後記

2010年10月、「COP10」（第10回 生物多様性条約締約国会議）が日本（名古屋）で開催された。「生物多様性」とは、あらゆる生物種の多さと、それらによって成り立っている生態系の豊かさやバランスが保たれている状態を言い、更に、生物が過去から未来へと伝える遺伝子の多様さまでを含めた幅広い概念（COP10 支援実行委員会ウェブサイトより）である。私たちは、生物多様性からの恵みに支えられて生きており、それらは生活に欠くことのできないものとなっている。特に、経済的価値をもつ食品、薬品、化粧品等を生み出す生物資源は、無尽蔵にあるわけではなく、ヒトとの共存が未来へつなぐ鍵となっている。食と健康を科学する私たちにとって、今年は考えるところが多かったのではないだろうか。

生活科学科，管理栄養学科，健康デザイン学科，食物科学科の4学科の在籍学生数は630名を超え，日々賑やかに学問に励む姿は大変喜ばしい限りである。各位が，日頃の教育研究活動においてたゆみなく努力された成果により，この生活科学紀要においても幅広い分野から総説，報文，研究ノートおよび特別寄稿が寄せられた。今後も各位のさらなるご発展をお願いしたい。

最後に、ご投稿いただいた方々、お忙しい中、快く論文の審査を引き受けてくださった方々、学苑編集室の皆様にご心から感謝致します。

編輯委員 曾田 功・不破眞佐子

学苑 八百四十二号

定価 八四〇円（本体八〇〇円）

購読料 一年分 一〇〇八〇円

(本体 九六〇〇円)

平成二十二年十一月二十日 印刷

平成二十二年十二月一日 発行

編集発行人  
猪熊雄治

印刷所三秀舎

発行所 昭和女子大学

近代文化研究所

〒154-8533  
東京都世田谷区太子堂一ノ七

電話 03 (三四一一) 五三〇〇

☆掲載論文の無断転載を禁じます。